

墨田区のお知らせ2014.1.11

NO.1734 (毎月1日・11日・21日発行)

# すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) 公5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、区および区職員との協働・協治を表すものです。

- 2面以降の主な内容
- 2～4面…学校選択制度に関するアンケート調査結果
- 5面…は～もに～
- 6面…すこやかライフ
- 7・8面…講座・教室・催し

すみだと全国の旬間歳時記

●一月場所(初場所)  
国技館(横綱1-3-28)では、1月に相撲の初場所が行われる。今年(2014年)は1月12日～26日に開催され、国技館に掲げられる力士のぼり旗が冬の景色を彩る。



<http://www.city.sumida.lg.jp/>

## 30回目の大合唱が、国技館を震わせて、とどろき渡る 国技館5000人の第九コンサート



### 歌声に込めた願いを すみだの道しるべに

39年ぶりに台東区蔵前から両国へ戻ってきた国技館を、ベートーヴェンの交響曲第9番の大合唱で歓迎しようと、昭和60年2月に「国技館5000人の第九コンサート」が初めて開催されました。これは、自由・平和・博愛への願いが込められた第九の合唱を5000人の大集団が歌い上げることで、相撲の殿堂「国技館」の帰還を祝うものです。また、相撲に表される「和」、第九に表される「洋」の二つの文化を融合させることによる地域活性化への願いも込められています。

この壮大な取組は、すみだの芸術文化の振興をめざす「墨田音楽都市構想」策定のきっかけになりました。

そして、区は現在も、音楽の持つエネルギーをまちづくりに取り入れ、活気あふれる「音楽都市づくり」の道を歩み続けています。

### 5000人の想いが 感動の渦を巻き起こす

歌い継がれて30回目を迎える今年の「国技館5000人の第九コンサート」は、2月23日(日)に開催されます。このコンサートの特徴は、幅広い年齢の歌手が合唱経験の有無に関わらず、様々な地域から集うことです。今年(2014年)は、6歳から97歳までの歌手が、すみただけではなく、日本各地・世界各国から集まります。また、練習会場の設営やコンサート当日の運営にも、歌手の方々携わり、みんなでコンサートを創り上げています。さらに今年(2014年)は、クラシッ

ク音楽の裾野を広げていくために結成された「トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ」が、若い力で瑞々しい演奏を披露し、節目のコンサートを一層盛り上げます。

5000人の大合唱は、国技館を揺るがさんばかりの大迫力で、聴衆の皆さんを感動の渦に巻き込むことで

しょう。「スカイツリーの街」心でつなぐ「ハーモニー」をテーマに開催される今年のコンサートを聴きに、ぜひ、会場へお越しください。

【問合せ】▶国技館すみだ第九を歌う会事務局 ☎5608-1611 ▶文化振興課文化行事担当 ☎5608-6180

2月23日(日) 午後2時開演 第30回国技館5000人の第九コンサート 「スカイツリー®の街」心でつなぐ「ハーモニー」

【とき】2月23日(日)午後2時～  
\*開場は午後1時【ところ】国技館(横綱1-3-28)【入場チケットの販売窓口・問合せ】▶文化振興課文化行事担当(区役所14階) ☎5608-6180 ▶チケットぴあ ☎0570-02-9999  
\*イス席のみ販売(Pコードは215-744)

席種	フロア	料金
イス席	アリーナ席	1階 完売
	S席	2階 6000円
	A席	4000円
マス席	B席	3000円
	A席	1階 4000円
	B席	3000円
ファミリーシート		完売

◎事前申込みによる、1歳～就学前の子どもの一時保育(一人につき1000円)があります。ご希望の方は、2月14日までに国技館すみだ第九を歌う会事務局(区役所1階)へお申し込みください。



音取り・発声など「第九」を歌うために必要な基礎を身に付ける「初心者コース」に参加しているだけでなく、練習会場の設営や当日の運営も担う方に、お話を伺いました。

松島泰夫さん(京島一丁目在住)

「初心者コース」では、詩の内容や音楽の専門的なこともユーモアを交えて分かりやすく教えてくれます。

歌手としてだけでなく、裏方としてもお手伝いできることや、たくさんの方とのふれあいも、やりがいにつながっています。初めての第九コンサートですが、プロのオーケストラの演奏で歌うことや、5000人が声を合わせることに、歌手と同じくらいの人数的にお客さんに聞いてもらうことが、楽しみで仕方ありません。これからも、第九コンサートに参加して、ずっと歌い続けていきたいです。



所属している合唱団や聖歌隊の発表会などが重なったとき以外、参加し続けて今年で25回目となる英国ご出身の方に、お話を伺いました。

ドリン・シモンズさん(両国二丁目在住)

40年以上前に仕事で来日し、その後、両国二丁目へ引っ越して来ました。両国の魅力は、盆踊りや力士とのふれあいなどで、下町の雰囲気を感じられることです。国技館が両国に帰ってくると聞いたときは、素晴らしいことだと思いました。今でも、相撲の発展のため、そして、両国の文化のために歌い続けています。

胸いっぱい息を吸い、血を巡らせ、イメージを膨らませ、気持ちを込めて歌う「第九」は素晴らしいです。5000人の練習の成果を、ぜひ、聴きに來てくださいね。